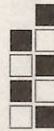


常照

第808号

熱がでた親鸞聖人



親鸞聖人五十九歳の頃。風邪をこじらせたのでしょうか、大変具合が悪く床につかれたようです。奥様の恵信尼様が娘へ宛てた消息（お手紙）にその時の様子を「風邪気味で、全く看病人も寄せつけず、音もたてず静かに臥しておいでになりますので、お身体に触れてみますと、火のような熱さです。頭痛の激しさも一通りではないようです。」と記されています。

さて、親鸞聖人が病床に臥してから四日目にあたる夕方、「床について二日目から、『大無量寿経』を立て続けに読んでいます。目を閉じると、そのお経の文字が全部、はつきりと見える」とつげられたそうです。

高熱の中で、ご自身が四十二歳の当時、佐貫（現在の群馬県あたり）で三部経を千回読誦したことを想い起こされたようです。

親鸞聖人四十二歳の頃



三部経とは、師と仰ぐ法然聖人が大切にされた『大無量寿経』『観無量寿経』『阿弥陀経』の三つの經典のことで、浄土三部経ともいい、法然聖人が専修念仏の教えの中心に据えたものです。お釈迦様

が説かれた阿弥陀仏とその本願、またその仏国土である極楽浄土についての經典です。

その三部經を千回読誦しようとした親鸞聖人。一回読むのに三時間以上かかるという膨大な經典をなぜ千回も読もうと思われたのでしょうか？

古来より日本の仏教では、經典を読むことに功德があると考えられてきました。例えば『大般若經』を六百巻読むと大変な功德、利益があるとされ、今でもそれが行われているいます。膨大な經典ですから經典をパラパラと左右に動かし閉じる、それで一卷読んだことになる転読と呼ばれる姿も有名です。

この当時（鎌倉時代）、疫病や飢餓、天候不順により世の中は混乱を極めていたようです。また貴

族社会から武家社会への変化を遂げる過渡期であったともいわれています。

そんな情勢の中での読經は死者への追善供養のためか、はたまた不作による飢饉への雨乞いのためか定かではありませんが、苦しむ民衆を目の当たりにして思い立ち、実行されたのではないでしうか。世のため人のためと、親鸞聖人がいてもたってもいられなくなつた：そんな風に思いを巡らせるのであります。

親鸞聖人が問うた自我



そうして親鸞聖人は三部經読誦を始めますが四、五日経つた時、自分のしていることに疑問をもちます。阿弥陀如来にすべてをおま

かせする、その事を喜び、人に伝えていくことが本当の仏恩報謝だと聞いていくのに、念仏を称えるほかに何の不足があつて、お経を読もうとするのだろうか。今自分がやっていることは、修行により特別な能力を得た偉いお坊さんが加持祈祷のため、病氣・災難などをはらうために行う祈りや儀式と同じではないか…と愕然とされた様子です。

「それのどこが悪いの？」と問われそうですが、親鸞聖人によつては大問題だったのです。読経によつて疫病や災害を封じ込めるということは、自分の能力をアテにするということです。ひいては阿弥様のお慈悲を疑っている、とまあ極端な言い方かもしれませんが…親鸞聖人にとっては、それほ

どの行為だったのです。このことは親鸞聖人にとって自力のはからいの心がいかに強いものであるかを知らされた出来事だったのです。そしてこの出来事は浄土真宗という教えの中で大きな意味を持つのだと思います。

コロナ禍のなかで



今でも新型コロナウイルス退散祈願として、お寺や教会で祈祷が行われます。それを否定するつもりは全くありません。この騒動が収束してほしいと私も心から望んでいます。しかしそれと同時に私達が聴聞させていただいている念仏の教えに、なんの不足もないことを親鸞聖人は教えてくださっているのです。

冒頭に話を戻します。親鸞聖人は四十二歳の頃、あれは間違いだつたと気づかれたのです。ただ、それでも十七年後また、一心にお経を読んでいる夢を見たのです。自らの心の奥底に、読経の功德で病を押さえ込もうとするそんな自力の心が生じていることを厳しく見つめられたのです。自力・自我に悩み苦しむ姿は、今日の私達を励ますように、導くような姿に思えてならないのです。

お互いにコロナの騒ぎに惑わされないよう、念仏ひとつのご法義を大事に聴聞させていただきましよう。



五月の常例布教(ご法話)のご案内

○前期 五月七日(金)～十一日(火)

休 座

○後期 五月十三日(木)～十六日(日)

大阪教区 榎並組 信徳寺

講師 小西 善 憲 師

○場 所 小樽別院内

○時 間 午後二時(法要終了後)～

午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使にご法話をして頂きます。

どうぞお誘い合わせ頂き、ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気実施の上、お待ちしております。

発行所

☎047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号
本願寺小樽別院

電話 二二一〇七四番
FAX (〇三三) 二二九一四〇番
テレホン法話 二七一一六一番